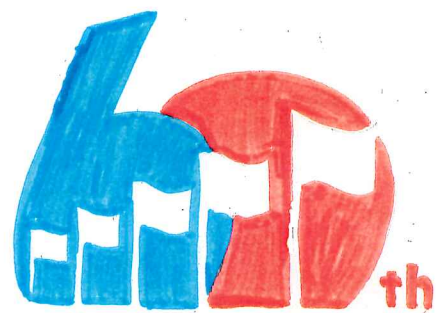


世界の今を知ろう



だれのためにするのか

制作者:
関根 和奏
山井 美季

国連と日本

国連ってなんだろう？

国連(国際連合)は第二次世界大戦を防ぐことと、きながった国際連盟の反省を踏まえ、アメリカ・ソ連(現在はロシア)・イギリス・フランス・中国が中心となって、1945年10月24日に設立しました。本部はアメリカのニューヨークにあります。(写真)最初、51か国だった国連加盟国は現在、世界193か国になっています。

国連の活動目的は①国際平和・安全の維持 ②諸国間の友好関係の発展 ③経済・社会・文化・人道的な国際問題解決。人権、基本的自由の助長のための国際協力の3つです。

実はスゴイ! 国連と日本の活動力

国連は、6つの主要機関と、その下に置かれた付属機関・補助機関から成ります。また、国連と連携した、専門機関、関連機関もあります。これらは、3つの活動目的に基づいて活動しています。主な活動力は、平和と安全の維持、経済・社会関係、人権保護、援助です。現場に行っている活動として、本部で各国に指示を出しているなどしています。近年は、世界の飢餓人口を2億1600万人減らすなど、着実に成果を上げています。日本も国際平和に大きく貢献しています。国連の予算の約10%は日本が担っています。また、世界各地で起る災害の援助をしながら、主要機関の「Y-4」を運営する日本人もいます。

世界 今 2

気候変動

気候変動といえは...?

私たちの生活を脅かす気候変動。その代表的な例が、みなさんもご存じ、**地球温暖化**という問題です。この地球温暖化は、気温の上昇、氷床の融解、熱膨張を引き起こします。日本では、排炭削減などに取り組む。開発途上国などを広く対象とし、3年間で(2009~2012)官民合わせて1兆7500億円規模の支援を実施することを目標にしました。東日本大震災(2011)があったにもかかわらず、日本は、気候問題に積極的に関与し、取り組むを続けてきました。気候変動には、**水不足**の問題もあります。日本は湿気が多い国になっている中、アメリカ、カメルーンなどでは、干ばつにより地表が干上がったりと、大変なことが起っています。

わたしたちにできること

気候変動はこの2つの例にもたくさん起っています。では、それらの原因は何でしょうか？ それはわたしたちの生活のせいです。電気のつけっぱなし、食料の捨てすぎなど。わたしたちには何の支障もありません。しかし、これが気候変動が起る原因です。自分の生活を見直してみよう。

世界の貧困

1



知らなかった! 貧困のこと

① 病気・飢餓

② 無収入

貧困

③ 無関心

貧困の原因

① 病気、飢餓

開発途上国では、十分な食糧・清潔な水・必要な医薬品などを手に入れないため、病気や飢餓の状態になり、仕事ができず、生み出せる富が少なくなる。

② 無知

教育が行き届いておらず、

労働者の仕事の選択ができなくなる。また低賃金の仕事にしか就けない。

③ 腐敗

権力者にかせいで金を不当に取られてしまい、労働者の働く意欲が失われる。

④ 依存

慈善団体の援助で生活していて、そこから抜け出せない。

⑤ 無関心

人々が自信を失い、状況を改善する意欲や、間違いを正そうとする意欲が失われている。

わたしたちにできること

これらの5つの原因は互いに関わり合っています。つまり、どれか1つの原因を改善することができれば、貧困は解決することが出来ます。そして、5つの原因のうちの病気・飢餓はわたしたちに改善することができません。日本は年間5500万トンの食料を消費していますが、同じようにわたしたちは年間1800万トンもの食料を捨てています。その量は、途上国の5000万人分の食料に匹敵します。日本は食について考え直すことが今、とても必要なことです。

わたしたちは貧困と気候変動について調べ、気がついたことがあります。それは貧困と気候変動は関係していることです。干ばつが起るから食料が減り、飢餓が起き貧困になります。お金をかせぐために環境保護は後回しにされ、結局気候変動が進みます。わたしたちはわたしたちのためにもこの悪循環を止めた方がいいかもしれません。なぜなら、気候変動が起ることで、これまで起きていた地球温暖化や干ばつ、砂漠化、異常気象はこれまで以上に深刻化してしまうからです。

国連と日本がすべきこと

日本は国連予算をたくさん分担するなど、金銭で国際社会に貢献しています。わたしたちはこれを誇りに思いますが、お金だけでは貧困や気候変動を解決することはできません。わたしたちはわたしたちの意識を変えなければなりません。日本は食料を捨てすぎです。また、たくさんエネルギーを使っています。これは日本が豊かさを象徴していますが、これにより苦しむ人がいます。これが、世界に存在する様々な問題の原因となっています。しかし、わたしたちはこのことを学校などで教えられることがありません。残量を減らそう、節電しようと言われますが、**「誰のためにするのか」**は言われません。そこで国連や日本は、豊かな国にすぎず、この「誰のためにするのか」を学校やポスターなどで広く教えることがいいと思います。これが、**「国際平和」**につながるのではないのでしょうか。